

○生活科の課題分析と具体的な授業改善計画（令和4年度授業改善プラン 入新井第一小学校）

\*令和3年度の改善プランの検証

児童は意欲的に学習に取り組み、経験や体験から得た気づきを、その後の学習や生活に生かすことができた。令和3年度は、異学年交流は、コロナの影響で交流は難しかったが、令和4年度から1年生との交流活動を再開することができた。今年度も、地域と生きる子どもというコンセプトで学習をすすめる。校舎改築による校内の自然環境の減少や、地域柄自然と触れ合うことが少ないので、令和3年度から実施している移動動物園や生活科見学などを利用して、自然や生き物の学習へ活かしていく。また、コロナ渦ではあるが、2年生の町探検も再開した。地域の方との触れ合いに継続して取り組み、地域の一員として意識をさらに高めていく。

\*令和4年度の改善プラン

観点	児童の実態	明らかになった課題	具体的な授業改善案	
生活	知識・技能 一年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を取り巻く人や自然に関心をもっている児童が多い。</li> <li>・朝顔を大事に育て、観察し、その成長や変化に気付いている。その一方で、成長や変化に気付けないでいる児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あれ」「どうして」「なるほど」といった情動的な気づきつながるような観点をもつこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の観察と比較してどう変化したのかを指導する。具体的には、葉の大きさであれば自分の手の大きさ、つるの長さは、自分の身長で比べるなど、子供たちから比べ方を出させて指導する。</li> </ul>
	思考・判断・表現力等 二一年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が育てている野菜を観察し、その成長や変化に気付いている。その一方で、活動から得た気づきを十分に自覚できていない児童がいる。</li> <li>・授業時間内に書ききることが難しい児童がいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察記録をとりながら、成長・変化に気付くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察の観点の他に、考えたこと、気付いたことを記入することを指導し、気づきの言語化を推進していく。</li> <li>・chromebookのカメラを使い、実物が近くになくとも観察ができるよう配慮する。</li> </ul>
	思考・判断・表現力等 一年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察カードの書き方を理解し始め、自分の言葉で気づきを表すことができるようになってきた。</li> <li>・絵だけではなく、文章で動植物の変化を説明できる力もついてきたが、そのような表現を苦手とする児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや願いを文にして表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察の視点や観察カードの書き方を具体的に指導する。（教員がお手本で書く。）</li> <li>・活動や発表の目当てを具体的に伝え、まとめの際には書き方の良い例と悪い例を示し、めあてに合った学習ができるように指導する。</li> </ul>
	思考・判断・表現力等 二一年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた観点で観察や学習カードに取り組み、完成させることができるようになった。</li> <li>・活動から得られた気づきを絵や文章でまとめたり、自分の思いや考えを加えたりする力もついてきた。</li> <li>・観察した様子について具体的にまとめることが困難な児童も見られる。</li> <li>・学習したことをまとめて発表する際に、発表の仕方に個人差・グループ差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付いたことや考えたことを観点に沿ってまとめ、伝え合うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学年からの理科の学習につなげられるように観察カードへのまとめ方を指導していく。学習課題が解決できるよう、毎回今までの学習のまとめを掲示し、子供たちが振りかえられるようにしていく。</li> <li>・活動や発表のめあてを具体的に伝える。</li> <li>・発表の話型を提示し、発表の仕方を指導していく。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度 一年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育する生き物の様子や朝顔の世話と観察を熱心に取り組んでいる。</li> <li>・校内の人や他学年との交流等から、自他の成長や自分の変化に気付いている。</li> <li>・気づきを言葉にすることができて、観察カードにかき表すことが苦手なため、粘り強く取り組めない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や言葉での表現が苦手な児童も自信をもって学んでいけるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接かかわる活動や体験の中で生まれる知的な気づきを大切に、友達同士が気づきを共有できる時間を設ける。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度 二一年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の植木鉢育てているミニトマトの世話や観察に、熱心に取り組んでいる。</li> <li>・自然の生き物に関心をもち、活動している。</li> <li>・他学年との交流や地域の方との交流に意欲を持って活動している。</li> <li>・積極的に取り組むが、絵や言葉での表現が苦手な児童がいる。</li> <li>・他学年との交流や地域の方との交流で上手く関わっていないかたり、消極的な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や言葉での表現が苦手な児童も自信をもって学んでいけるようにすること。</li> <li>・人との交流に消極的な児童も、自信をもって接していけるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察の前に、観点を明らかに示す。観察カードでは、色・大きさ・形を正確に記録させ、絵においては写真を写すことも活動に取り入れる。</li> <li>・他学年や地域の方との交流をする際は事前と事後の指導で良い関わり方を取り上げ、関わりあいのが苦手な児童も取り組みやすくなるようにする。</li> </ul>